

第40回

日本耳鼻咽喉科漢方研究会 学術集会プログラム

漢方初学者からエキスパートまで

～博學而篤志、切問而近思

(博く学びて篤く志し、切に問いて近く思う)～

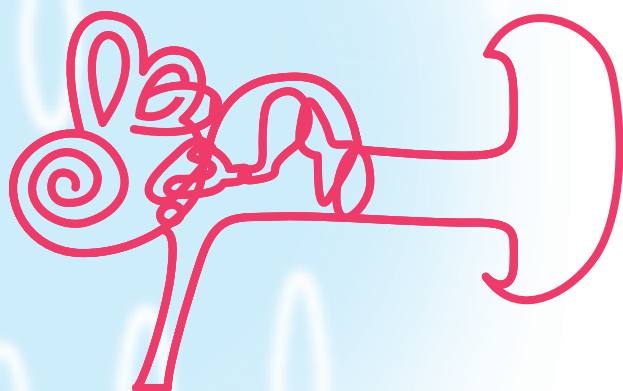
日時 2025年10月4日(土)

9:30～17:15

場所 東京コンファレンスセンター・品川

形式 現地開催+Web開催 (ハイブリッド開催)

会長 小川恵子 (広島大学病院 漢方診療センター)



共催：日本耳鼻咽喉科漢方研究会
株式会社ツムラ

参加者の皆さまへ



○「日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員カード(ICカード)」をご持参ください。

単位登録は日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定耳鼻咽喉科頭頸部外科専門医が対象です。

1. 学術集会について

- 名 称：第40回 日本耳鼻咽喉科漢方研究会学術集会
会 期：現地開催・LIVE配信：2025年10月4日(土)
オンデマンド配信：2025年10月17日(金)正午～11月30日(日)正午
会 場：東京コンファレンスセンター・品川
会 長：小川 恵子(広島大学病院 漢方診療センター)
テ ー マ：漢方初学者からエキスパートまで
～博學而篤志、切問而近思(博く学びて篤く志し、切に問いて近く思う)～
形 式：ハイブリッド開催
現地開催
LIVE配信：第1会場のみ
オンデマンド配信：一般講演、優秀演題賞ノミネート講演、ワークショップ指定演題(一般講演)

2. 参加申し込みについて

- 1) 参加形態を問わず、参加登録が必要です。【参加登録期間は7月15日(火)正午～11月30日(日)正午となります。】
単位申請をご希望の場合は、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員番号が必要となります。

2) 参加登録

登録開始日▶7月15日(火)正午より開始しております。

日本耳鼻咽喉科漢方研究会ホームページよりご登録ください。

https://secure101.jtbcom.co.jp/40jibika_kampo/

ご登録の際、「会場参加」または「Web参加」をご選択いただきます。

**会場参加の方も必ず事前にホームページより参加登録をお済ませいただき、
マイページに表示される二次元コードをご用意のうえ、当日会場へお越しください。**



現地会場では、参加証の発行のみ行います。

交通・宿泊のご相談は担当のツムラMRへお問合せ下さい。

- 3) 現地会場では参加証をホルダーに入れ、会場内では必ず着用してください。

(1) 参加費

参加費・会費

《会 員》年会費・参加費として計3,000円(年会費2,000円/参加費1,000円)

《非会員》当日参加費として5,000円

《学部生》無料

《名誉会員・顧問》年会費なし/参加費1,000円

(2) 支払い方法

決済方法はクレジットカード決済(VISA/Master Card/American Express/Diners Club/JCB)のみとなります。
クレジットカード決済に不都合がある方は、参加登録入力画面下部にある問合せ先へご連絡ください。

参加登録後の取り消しの場合は、参加登録後に自動送信されるメールに記載されている連絡先、もしくはツムラ担当MRまでご連絡をお願いいたします。

二重登録にはご注意ください。

領収書は、事前参加登録の完了後にマイページよりダウンロードいただけます。

※ 領収書は大切に保管していただきますようお願いいたします。

(3) 参加受付時間・場所

現地でご参加いただく方へ

- ・ 現地参加の方も事前参加登録の完了後にマイページに表示される二次元コードをご用意のうえ、当日会場へお越しください。
- ・ 現地参加用ネームカードは、当日会場受付でお渡しいたします。
- ・ 当日会場受付
場所：東京コンファレンスセンター・品川 5F ロビー
日時：10月4日(土)8:30～17:15

Webでご参加いただく方へ (Live視聴・オンデマンド視聴)

- ・ 事前参加登録の完了後にマイページに表示される「WEB会場へ」ボタンよりプログラムをご視聴いただけます。
- ※マイページにログインするパスワードをお忘れの場合はログインページより再発行いただけます。

(4) ハンズオンセミナーについて

- ・ テーマ 舌診・腹診
- ・ 開催日時 第40回学術集会当日 13:20～14:20 (第1会場プログラムと並行開催)
1グループ・6名
- ・ 会場 東京コンファレンスセンター・品川 5F【501】(第2会場)
- ・ 講師 広島大学病院 漢方診療センター 小川 恵子 先生
河原 章浩 先生
濱波 嘉登 先生
田村 義博 先生
- ・ 参加費 無料
- ・ 定員 24名 ※事前申込制 先着順 定員を超える応募の際はキャンセル待ちとなります。
- ・ 申込受付期間 2025年7月15日(月)～

3. 新専門医制度における単位申請に関して

本学術集会は新専門医制度における耳鼻咽喉科領域講習 その他の認定されたセミナー1単位、学術業績・診療以外の実績 認可された学術集会0.5単位が承認されております。

現地参加者は「日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員カード(ICカード)」をご持参ください。

これらの登録は日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定耳鼻咽喉科頭頸部外科専門医が対象です。

現地参加の場合：「ICカード」による登録方法

- ①学術集会参加登録：学術集会会場に会場時。(総合受付付近で行います)
- ②耳鼻咽喉科領域講習：耳鼻咽喉科領域講習1(10:25～11:25)
耳鼻咽喉科領域講習2(15:50～17:00)の受講の入退室時。
ただし、講習開始5分以降の入場者には受付致し兼ねますのでご注意ください。
なお、②に先立ち①の登録が必要です。

Web参加の場合：参加登録時、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会の会員番号(0から始まる7桁の番号)入力による登録方法

- ①学術集会参加登録：現地・LIVE開催期間中[10月4日(土)9:30～18:00]にWeb開催特設サイトにログインすることで単位認定いたします。
オンデマンド配信期間中は対象外となりますのでご注意ください。
- ②耳鼻咽喉科領域講習：視聴履歴確認のため、Zoom入室時の名前の欄に「氏名・所属」を入力してご入室ください。
下記の方は単位付与対象外となりますのでご注意ください。
 - ・ Zoomに入室の際、名前の欄に「氏名・所属」を入力していない
(参加登録情報とZoomに入力いただいたお名前が一致しない場合、単位を付与できない可能性があります)。
 - ・ 講習開始5分以降に視聴開始している
 - ・ 講習を最後まで視聴していない

※単位の認定は、「耳鼻咽喉科領域講習1」または「耳鼻咽喉科領域講習2」どちらか1単位のみです。

4. 参加・視聴に関する注意事項

第40回日本耳鼻咽喉科漢方研究会学術集会における講演(以下「本講演」)の参加・視聴にあたり、以下の注意をご確認いただきますようお願い申し上げます。

1. 本講演の内容を無断で複写・複製・編集・録画・録音・転用(本講演のスクリーンショット・写真撮影・ダウンロード・他のサイトへのアップロードを含む)など著作権、肖像権の侵害、および不当な権利侵害を行わないこと
2. ログインIDやパスワードを他者に知らせたり、共有することのないよう管理すること
3. Web視聴の際の推奨視聴環境は以下の通りです。
 - ・Windows 10以降
 - ・Google Chrome、Mozilla Firefox、Microsoft Edge (全て最新版)
 - ・Macintosh macOS Mojave 以上
 - ・Google Chrome for mac、Safari、Mozilla Firefox (該当OSで使用できる最新版)

座長の皆様へ

講演座長の受付はございません。担当セッション開始10分前までに、会場内の次座長席に必ずお着きください。

演者の皆様へ

《発表時間》

- 1) 一般講演、優秀演題賞ノミネート講演：口演7分 質疑3分
- 2) 耳鼻咽喉科領域講習1 特別講演：口演60分(質疑含む)
- 3) 耳鼻咽喉科領域講習2 ワークショップ：基調講演(口演15分) 指定講演(口演7分 質疑3分)
- 4) ランチョンセミナー：口演50分(質疑含む)

《発表方法》

・ご発表はパワーポイントによるデジタルプレゼンテーション(パソコン発表)にてお願いいたします。

【現地でのご発表の場合】

発表スライドの事前提出につきましては、ご発表の先生宛てに別途ご案内申し上げます。

ご発表当日は、各発表セッション開始の30分前までに『PC受付(東京コンファレンスセンター・品川5 Fホワイエ)』にて受付および動作確認を行っていただきますようご協力の程お願い致します。

【Webでのご発表の場合】

講演部分はパワーポイントに事前に音声収録してMP4形式に書き出しの上、9月26日(金)までにご提出をお願いいたします。

提出前に動画データの再生確認、利益相反状態の開示スライドが入っている事をご確認ください。

ご発表時はリモートにて出演頂き、質疑応答を頂きますようお願い致します。

《発表データ》

USBメモリをお持ち込みの方への注意事項

- ①ソフトは、以下のものをご使用ください。Windows版PowerPoint2013以降
※動画ファイルをご使用の方、Macintoshをご使用の方はPCをお持ち込みください。
- ②フォントはOS標準のもののみご使用ください。
- ③発表者ツール(演台モニターにスピーチ原稿を映す)は使用できません。

ノートPCをお持ち込みの方への注意事項

- ①バックアップとして、必ずメディア（USBメモリ）もご持参ください。
- ②PC受付にて映像の出力チェック後、発表者ご自身で会場内のオペレーター席へ発表の30分前までにお持ちください。※PCの機種やOSによって、出力設定方法が異なります。
- ③プロジェクターとの接続ケーブルの端子は、HDMIまたはミニDsub-15ピンです。PCによっては専用のコネクタが必要となりますので、必ずお持ちください。
※特に最近の小型PCは、別途付属コネクタが必要な場合がありますので、くれぐれもご注意ください。
- ④スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。
- ⑤コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。
※内蔵バッテリー駆動ですと、ご発表中に映像が切れる恐れがあります。

PC操作のご案内

現地発表の方は画面の操作はご自身で行っていただきます。
演台にはキーボードとマウス、およびモニターがセットされています。
PC受付にて担当者が操作方法を説明します。
Web発表の方は事前提出頂いた講演資料をオペレーターが映写致します。

《講演発表時の利益相反状態開示方法について》

学術集会における演題発表時の利益相反状態開示方法は、以下の通りといたします。

1. 開示しなくてはならない筆頭演者

臨床研究に関するすべての発表において、利益相反状態の有無にかかわらず開示しなくてはなりません。

2. 口演発表における開示方法

演題名・演者名・所属の slides の次の slide (第2 slide) に、以下に示すひな形に準じた slide を提示したうえで、利益相反状態の有無を述べてください。

利益相反状態にある場合のひな形

第40回日本耳鼻咽喉科漢方研究会学術集会

利益相反状態の開示

筆頭演者氏名：○○ ○○
所 属：△△△△耳鼻咽喉科

私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態は以下のとおりです。

役員・顧問職/寄附講座所属	○○製薬株式会社
講演料など	□□製薬株式会社
研究費/奨学寄付金	株式会社××ファーマ

利益相反状態にない場合のひな形

第40回日本耳鼻咽喉科漢方研究会学術集会

利益相反状態の開示

筆頭演者氏名：○○ ○○
所 属：△△△△耳鼻咽喉科

私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態はありません。

※利益相反の開示については「日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会」の指針をご参照ください

第40回日本耳鼻咽喉科漢方研究会学術集会 タイムスケジュール

一般講演30題（優秀演題ノミネート講演6、一般講演24（ワークショップ内指定演題含む））
領域講習2題（特別講演1、ワークショップ1） ランチョンセミナー 1題 ハンズオンセミナー（1企画）

【第1会場】 大ホール

9:30	開会の辞
9:35	一般講演Ⅰ (40分) 《4演題》 (7分口演・3分質疑)
10:15	休憩(10分 カード登録)
10:25	領域講習1 特別講演 (60分 講演質疑含む)
11:25	休憩(10分 カード登録)
11:35	一般講演Ⅲ (40分) 《4演題》 (7分口演・3分質疑)
12:15	休憩(10分)
12:25	ランチョンセミナー (50分)
13:15	休憩(10分)
13:25	一般講演Ⅴ (50分) 《5演題》 (7分口演・3分質疑)
14:15	休憩(10分)
14:25	優秀演題賞ノミネート講演 (60分) 《6演題》 (7分口演・3分質疑)
15:25	休憩(10分 カード登録)
15:35	総会 (15分)
15:50	領域講習2 ワークショップ 基調講演 ①・② (15分講演) 指定演題 4題 (7分口演×4)
17:00	優秀演題賞表彰式・閉会の辞
17:15	(カード登録)
18:00	情報交換会

【第2会場】 501

9:35	一般講演Ⅱ (40分) 《4演題》 (7分口演・3分質疑)
10:15	
11:35	一般講演Ⅳ (40分) 《2演題》 (7分口演・3分質疑) + 《1演題》 ハンズオンセミナー関連演題 (20分講演)
12:15	
13:20	ハンズオンセミナー (60分) (舌診・腹診) 定員: 24名
14:20	

第40回日本耳鼻咽喉科漢方研究会学術集会

2025年10月4日(土) 東京コンファレンスセンター・品川(現地+Web開催)

テーマ「漢方初学者からエキスパートまで
～博學而篤志、切問而近思(博く学びて篤く志し、切に問いて近く思う)～」

開会の辞 (第1会場)

小川 恵子 (広島大学)

9:30～9:35

一般講演Ⅰ (第1会場)

座長 堤 剛

(東京科学大学)

9:35～10:15

01. 当院における耳管開放症の諸症状に対する漢方治療経験

石田耳鼻咽喉科医院

○浜井 行夫

02. 耳管開放症に対して漢方薬を処方した1例

山口大学医学部附属病院

○野村 一智、菅原 一真

03. 加味帰脾湯を用いた不眠治療の経過中に聴力が改善した一症例

名古屋市立大学大学院 耳鼻咽喉・頭頸部外科¹⁾

名古屋市立大学病院 漢方医学センター²⁾

○有馬 菜千枝¹⁾²⁾、勝見 さち代¹⁾、小島 綾乃¹⁾
江崎 伸一¹⁾、佐藤 慎太郎¹⁾

04. 不眠に対しての経方理論による治療症例

広島大学病院 漢方診療センター

○田村 義博、濱波 喜登、河原 章浩、小川 恵子

一般講演Ⅱ (第2会場)

座長 山下 拓

(北里大学)

9:35～10:15

05. 睡眠障害、倦怠感に桂枝加竜骨牡蛎湯が有用であった症例

とも耳鼻科クリニック¹⁾²⁾、札幌医科大学 耳鼻咽喉科²⁾、竹田眼科³⁾

○新谷 朋子¹⁾²⁾、吉田 瑞生²⁾、高野 賢一²⁾、竹田 眞³⁾

O6. 漢方薬が奏効した若年者の味覚障害の1例

福井大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○呉 明美

O7. 広範囲の顔面・頸部嚢胞性リンパ管腫の増大阻止に漢方薬が有効であったと思われる一例

琉球大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座

○山岸 二葉、真栄田 裕行、鈴木 幹男

O8. 抑肝散奏功例、エビデンス、質問紙についての検討

医療法人建悠会吉田病院 耳鼻咽喉科・精神科・認知症疾患医療センター¹⁾

宮崎大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室²⁾

○清水 謙祐¹⁾²⁾、中村 雄²⁾、高橋 邦行²⁾

休憩(カード登録)

10:15~10:25

特別講演

耳鼻咽喉科領域講習1(第1会場)

座長

吉崎 智一

(金沢大学)

10:25~11:25

耳鼻咽喉科における漢方薬の活用法-基礎の考え方と臨床応用

和光耳鼻咽喉科 / 埼玉医科大学東洋医学科

齋藤 晶

休憩(カード登録)

11:25~11:35

一般講演Ⅲ(第1会場)

座長

森田 由香

(富山大学)

11:35~12:15

O9. 漢方と鍼灸の併用により持続性知覚性姿勢めまい(PPPD)が改善した一例

広島大学病院 漢方診療センター¹⁾、シムラ病院附属鍼灸院 セラピア²⁾

○永友 佑夏¹⁾²⁾、河原 章浩¹⁾、小川 恵子¹⁾²⁾

O10. しゃがみ込んでしまう全身の脱力に対し漢方薬治療が奏効した一例

広島大学病院 漢方診療センター

○濱浪 嘉登、田村 義博、河原 章浩、小川 恵子

O11. 結節性紅斑、耳管閉塞症の加療中に顔面神経麻痺を発症したが、標準治療に加え、漢方・鍼灸治療の併用が奏功した一例

広島大学病院 漢方診療センター

○井上 絢、濱浪 嘉登、金山 敏治、廣瀬 桂子
河原 章浩、小川 恵子

O12. 高齢化地域における耳科疾患への漢方治療

済生会有田病院 耳鼻咽喉科¹⁾

和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科²⁾

○金子 富美恵¹⁾、河野 正充²⁾、保富 宗城²⁾

一般講演Ⅳ (第2会場)

座長 小澤 宏之 (慶應義塾大学)

11:35~12:15

O13. 頭頸部がん再建手術の周術期における消化管機能に対する大建中湯の効果の検討

浜松医科大学

○今井 篤志、三澤 清

O14. 外耳道癌に伴う顔面神経麻痺に対し、湯液、鍼灸治療にて症状改善が得られた一例

広島大学病院 漢方診療センター

○廣瀬 桂子、河原 章浩、井上 絢、金山 敏治、小川 恵子

ハンズオンセミナー関連演題

O15. 腹診

広島大学病院 漢方診療センター

○河原 章浩、小川 恵子、濱浪 嘉登、田村 義博、井上 絢

休憩

12:15~12:25

ランチョンセミナー (第1会場)

座長 小川 恵子 (広島大学)

12:25~13:15

漢方薬を活用した呼吸器内科的治療 ～耳鼻咽喉科領域と関連する症状の改善を目指して～

福井大学医学系部門 呼吸器内科学分野

早稻田 優子

休憩

13:15~13:25

一般講演V (第1会場)

座長 太田 伸男 (東北医科薬科大学)
北村 嘉章 (徳島大学)

13:25~14:15

O16. 糖尿病合併の突発性難聴に漢方薬が奏効した1例

笠間耳鼻咽喉科

○上山 展弘

O17. めまいに何故五苓散が有効なのか？

竹越耳鼻咽喉科

○竹越 哲男

O18. 中国において耳鼻咽喉科診療における虫類生薬

昭和大学 薬学部 普通研究生

○全 選甫

O19. COVID-19感染後の異嗅症に漢方治療が有効と考えられた一例

奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科¹⁾

奈良県立医科大学 大和漢方医学薬学センター²⁾

三谷ファミリークリニック³⁾

○岡安 唯¹⁾、三谷 和男²⁾³⁾、北原 紘¹⁾

O20. COVID-19に関連する症状に対し麻黄湯の薬理作用の基礎医学的解明

大阪歯科大学歯科医学教育開発室¹⁾、松本歯科大学薬理学講座²⁾

○王 宝禮¹⁾、益野 一哉¹⁾、大草 亘孝¹⁾、今村 泰弘²⁾

ハンズオンセミナー (第2会場) 事前申込制

13:20~14:20

診察ワークショップ「舌診・腹診」

講師 広島大学病院 漢方診療センター

小川 恵子
河原 章浩
濱波 嘉登
田村 義博

休憩

14:15~14:25

N1. Evaluating the Impact of Ninjin'yoeito on Oral Function Enhancement in the Elderly

広島大学医系科学研究科¹⁾、広島大学病院漢方診療センター²⁾
愛知医科大学 内科学講座血液内科³⁾、
金沢大学 医薬保健研究域 医学系 耳鼻咽喉科⁴⁾

- NGO QUANG TRUNG¹⁾、白井 明子⁴⁾、李 弘揚²⁾
高見 昭良³⁾、河原 章浩²⁾、梁 恋¹⁾、吉崎 智一⁴⁾
小川 恵子²⁾

N2. 習慣性扁桃炎の患者の症状に対する補中益気湯の効果について

東北医科薬科大学医学部 耳鼻咽喉科学¹⁾
東北大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科²⁾
仙台医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科³⁾

- 佐藤 輝幸¹⁾、白鳥 秋菜²⁾、安齋 菜々子³⁾、舘田 豊¹⁾
山崎 宗治¹⁾、鈴木 貴博¹⁾、渡来 剛右¹⁾、佐藤 克海¹⁾
田口 健太¹⁾、太田 伸男¹⁾

N3. 漢方治療を受けた外傷性嗅覚障害における静脈性嗅覚検査の 予後診断的意義の検討

金沢医科大学 耳鼻咽喉科¹⁾、富山城南病院²⁾

- 石倉 友子¹⁾、阿河 光治²⁾、湊 梨穂¹⁾、三輪 高喜¹⁾
志賀 英明¹⁾

N4. マウス耳石器形態・機能の加齢性変化に対して、 漢方薬長期内服が与える影響の比較検討

奈良県立医科大学附属病院 耳鼻咽喉科¹⁾
ベルランド総合病院 めまいセンター²⁾

- 植田 景太¹⁾、岡安 唯¹⁾、今井 貴夫²⁾、北原 紘¹⁾

N5. 前庭性片頭痛確実例におけるロメリジン塩酸塩と五苓散の併用治療効果 -気象病関連症状の有無と五苓散の気象病レスポンスの検討-

横浜市立みなと赤十字病院 めまい平衡神経科

- 新井 基洋

N6. 良性発作性頭位めまい症に対する苓桂朮甘湯の治療効果

東海大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○五島 史行、金田 将治、和佐野 浩一郎、大上 研二

休憩 (カード登録)

15:25~15:35

総会 (第1会場)

15:35~15:50

ワークショップ

座長 ▶ 三輪 高喜
北原 紘

(金沢医科大学)

(奈良県立医科大学)

15:50~17:00

基調講演① 内耳における水代謝分子機構の理解と五苓散および 柴苓湯の臨床応用

奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

○北原 紘

基調講演② 耳鼻咽喉科領域と利尿剤

公立穴水総合病院 内科

○華岡 晃生

W1. 耳鼻咽喉科領域における越婢加朮湯の使用経験

なのはな耳鼻咽喉科

○境 修平

W2. 頭頸部癌症TPF症例の下痢に対する柴苓湯の治療効果—第2報

恵佑会札幌病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科¹⁾、恵佑会札幌病院 薬剤科²⁾

○渡邊 昭仁¹⁾、木村 有貴¹⁾、出町 拓也²⁾

W3. 五苓散からの変方により良好な経過を得ためまい症の1例

金沢大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科¹⁾

金沢大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科²⁾

○白井 明子¹⁾、吉崎 智一²⁾

W4. メニエール病患者の暑邪に対する清暑益気湯の使用経験

広島大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科¹⁾

広島大学病院 漢方診療センター²⁾

○西田 学¹⁾、河原 章浩²⁾、小川 恵子²⁾、竹野 幸夫¹⁾

特別発言

新井 基洋 横浜市立みなと赤十字病院

五島 史行 東海大学

優秀演題賞表彰式 (第1会場)

小川 恵子 (広島大学)

17:00～17:10

閉会の辞 (第1会場)

保富 宗城 (和歌山県立医科大学)

17:10～17:15

情報交換会 17:15～18:00

日本耳鼻咽喉科漢方研究会世話人 一覧

代表世話人	吉崎 智一（金沢大学）	顧問	市村 恵一
世話人	犬飼 賢也（いぬかい耳鼻科クリニック/新潟大学）		小川 郁
	太田 伸男（東北医科薬科大学）		荻野 敏
	小川 恵子（広島大学）		齋藤 晶
	小澤 宏之（慶應義塾大学）		將積 日出夫
	北原 紘（奈良県立医科大学）		竹内 万彦
	北村 嘉章（徳島大学）		武田 憲昭
	塩谷 彰浩（防衛医科大学校）		中田 誠一
	角南 貴司子（大阪公立大学）		三輪 高喜
	堤 剛（東京科学大学）		山下 裕司
	中川 尚志（九州大学）		渡辺 行雄
	保富 宗城（和歌山県立医科大学）		
	森田 由香（富山大学）		
	山下 拓（北里大学）		
	山田 武千代（秋田大学）		

（五十音順・敬称略）

会場案内図



電車でのアクセス

JR品川駅港南口（東口）より徒歩2分
羽田空港国内線ターミナル駅から京浜急行で最速14分
（エアポート快特利用）
成田空港から成田エクスプレスで直通70分

お車でのアクセス

首都高速1号羽田線芝浦ランプから約2km

東京コンファレンスセンター・品川
〒108-0075 東京都港区港南 1-9-36 アレア品川 3F-5F
TEL.03-6717-7000 FAX.03-6717-7001

本学術集会に関するお問い合わせ

第40回日本耳鼻咽喉科漢方研究会学術集会 共催事務局

株式会社ツムラ 医薬マーケティング部内

Mail : jibika@mail.tsumura.co.jp

ツムラお客様相談窓口 TEL:0120-329-970 (9:00-17:30平日のみ)

共催事務局ではテレワークを実施しております。

大変お手数ではございますが、ご連絡頂きます際には、

E-mailにてお問合せいただきますよう、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。